

広報

No.218

わわたりい

'83 2~3



町のうごき

人口男 4,461

女 4,609

計 9,070

世帯数 2,049

出生 9

死亡 7

転入 19

転出 15

58. 3. 1現在

春 の 香

先ごろの寒さのぶり返しも過ぎ、ほほをつたう風にも心地よさを感じる。

春風は梅の香を運び、木々の新芽の息づかいを伝えてくれる。

中でも清そで、気高い梅の香は、

春の訪れを待つ私たちに寒暖の境目を教えてくれる。

肌寒さを覚えながら、静かに梅花の下にたたずむ。

ほのかに、甘ずっぱい穏やかな香りが漂ってくる。

心が洗われ身が引きしまるようだ。

春のとびらの前で、じっと耐え忍んでいた梅林の花の郡れ。

やがて色とりどりの花たちを、とびらを開けて迎えてくれるでしょう。

希望と躍動に満ちた、春がいよいよスタートしました。

第七回 伊勢地区植樹祭

上久具で行われる

町の森林資源

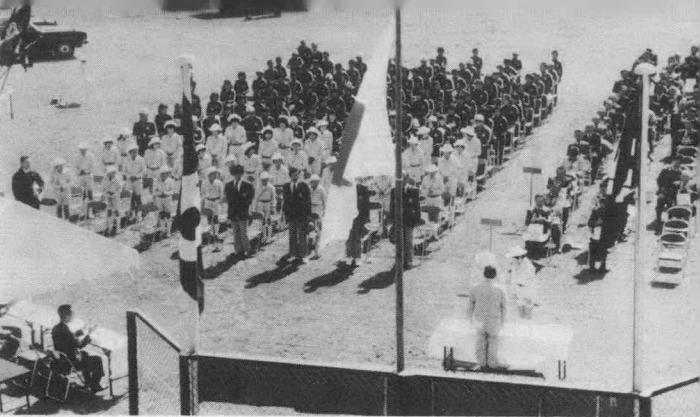
式典では、緑化功労者と造林地コンクールの入賞者として、本町を始め大宮町・南勢町の皆さんに晴れの表彰を受けられました。

砂漠の人々

今、地球的な規模で緑が失われつつあります。このまま放置すればやがて沃土も砂漠と化し、人はその生命の危機に直面すると危惧されています。

緑に恵まれない砂漠に住む人々は、まばらにしか生えてこない貴重な木々を・・・それも乾燥地帯特有のトゲトゲしく、わずかしか葉をつけることができない木々・・・その地域一帯に住む彼ら皆んなのものとして

◎ その木が生きている間は決つして切らない。
◎ 枯れて始めて彼らが生きていくための住いの材料にまた生活や狩猟の道具として利用するという。それは生きるためのきびしいルールなのだろう。



記念の植樹



記念の植樹をする中山伊勢支部長

次の世代へ

植樹する子供達を見守る一人の老人……次の世代へとこの緑の木々が伝えられていく。……心なごむ風景も見受けられました。

世代と地域を超えた願いとして、緑の少年隊のちかいの言葉と隊の文詩集「わだつみ」の一節を御紹介し、いま一度緑について感謝し、守つていいくことを考え直してみたいのです。

来賓を代表して、服部県緑化推進協議会長（代理）・瀬古県議会議員・濱千代二見町長・杉本町議會議長らの皆さ

続いての記念植樹は、緑の少年隊がその活動の一つとして掛けてくれた巣箱のある小径を通りぬけ式典会場に隣接する区有林で行われました。

中山県緑化推進協会伊勢支部長と村田伊勢林業事務所長





緑の少年隊も 結成される

ちから強く、ちかいのことばを

朗読代表

津村 将彦
福井さゆり

内城田地区 緑の少年隊

ちかいのことば

私たち

- 一、自然を守り、ふるさとを愛する人に
- 一、規律を守り、心身ともに健全な人に
- 一、すべての命あるものを愛護する心やさしい人に
- 一、ふるさとから「三」を追放し、清潔な町をつくる人に
- 一、みんなが和合し、豊かなふるさとをつくる人に

なろう。



◇緑化功労者

（山林の部）
坂井早期育成造林組合
中野亮一（度会町）
中村和宏（大宮町）
水野訓行（〃）
中村清司（紀勢町）
（環境の部）
大野木老人クラブ
森本喜一（度会町）
岡山彦二（〃）
岡野保治（〃）
森本喜一（度会町）
田村孫一（〃）
岡山彦二（〃）
岡野保治（〃）
馬瀬勝（〃）
大西志乃（〃）
大西千津（〃）
亀田元彦（〃）
中川小（〃）
6年

◇造林地コンクール

一等 森井清吉（度会町）
二等 森本栄一（〃）
井上希也（南勢町）
御村育郎（度会町）
見並明（大宮町）
庄下正行（南勢町）
若宮一哉（内城田小5年）
西村典子（〃）
5年

表彰を受けられた皆さんを代表して西村金右衛門さん（大野木老人クラブ会長）が謝辞を述べられました。上久具区の皆さん、会場の準備にご協力いただき、また県関係当局には何かと援助・協力をいただきましたこと、お礼申し上げます。

うらの林は、きれいだったのに、いつのまにかあきかんや、おかしくずがほってあります。

だれが、こんなにきれいな草原をきたなくしたのでしょうか。まい、わらびなどがはえてくのになぜ、こんなにきれいなところをきたなくしてしまったのかな。

どうして、いかんと気がつかないんでしよう。わたしたちみんなが力を合わせて、

春になると、つくしやせんまい、わらびなどがはえてくるのになぜ、こんなにきれいなところをきたなくしてしまったのかな。

春になると、つくしやせんまい、わらびなどがはえてくるのになぜ、こんなにきれいなところをきたなくしてしまったのかな。

どうして、いかんと気がつかないんでしよう。わたしたちみんなが力を合わせて、

きれいな草や、花のさいているところに、ごみをすてないようにしてたいと思います。おじいさんいたのんで、「ごみをするな」とかいて、たててもらいました。



表彰を受ける田村さんら

表彰された皆さん



入選した子供たちのポスター

駅伝大会

上々具一尾崎さん惜しくも六連続
区間賞ならず



スタート（能見坂口）

前半はこれら上位チームの混戦となり、加えて田口の喜多・山口の両エースが活躍し六区では三位まで浮上し、増々レースを面白くさせた。

いつもながら緊張の一瞬、午前十時を合図にピストルが鳴る。……予想された注連指の松原、一之瀬ソフト連盟作野の両選手が飛び出し皆を引っぱっていく。一区では一之瀬ソフト連盟がわずかにリードし、注連指・棚橋・上々具と続く。

から二位、三位のタイムを出しながらけん命に走る。

る選手たちを見て、ふと思いつく

から二位、しながらけ
各字の沿
ん、おばあ
たくさん
一日曜日、
と一緒に声
ことに、ス
層も年々増
統いて走
ラブの二チ
げまされて
一 声援の中

三位のタ
ん命に走
道には、
さんから子
観衆が集
町の駅伝
援する—
ボーツを
えてきた
る大野本
ームも、
ゴールへ
をただひ

「おじいさ
子供達まで
法大会を孫
うれしい
と楽しむ階
たようだ。
不・日向ク
声援には
と向う。
たすら走

る選手た
出。——
夜間の練
と続く。
分で走つ
今日まで
チームの
役として
フの面々
昭和五十
たすらゴ
んなの気
なった。

仕事を終えてから練習が一週間、二週間で、
今、一区間に十数回もあればいい。しかし、
裏方に廻ったスタッフは、何十分の何十分の
調整役、とりまとめの役だ。二度と訪づれない
八年一月三十日をひき、二月一日から、
一月へと向う。皆持がびたつと一つに

第六回町民駅伝大会は、一月三十一日の日曜日、今年ははじめての試みとして、能見坂口（南中村）をスタートし県道伊勢南島線→町道川南線→県道伊勢大富線→度会中学校をゴールとする八区間三十二・四キロメートルのコースで行われた。

好天に恵まれ参加十チームの全てが完走し、めまぐるしく白熱したレースを展開した。

その結果、優勝の栄冠は、注連指チームの頭上に二年ぶり五度目として輝いた。

スタートに先がけての開会式において、第一回大会から前回まで五回連続して区間賞を獲得した尾崎典弘さん（上々具）が表彰を受けられた。

注連指チーム二年ぶり 五度目の優勝

スタート



柳中継点

町民

第6回

ゴール

走り終った選手も沿道の観衆も気がかりなゴールへと集まる。——棚橋チームと注連指チームが最終区でデッドヒートを演じている。間もなくゴールへ到着するでしょう。広報車のスピーカーからの案内娘の声に、走路の両側に観衆の人垣ができる。

注連指が見えてきた。

棚橋が追う。人垣の拍手の中へ走り込む。

選手も裏方も、この感動の一瞬を待っていたのかも知れない。

田口の山本さん親子の力走、六十五歳の高齢でアンカーを務めた大野木西村選手など豊富な話題の大会となりました。

成績は次のとおり

一位	注連指	2° 0' 1"
二位	棚橋	2° 0' 1" 0' 7"
三位	一之瀬ソフト連盟	2° 0' 3" 3"
以下	田口・永和クラブ	2° 0' 3" 3"
(区間賞)	平生ファイヤーズ・牧戸青壯年・大野木・日向クラブ	2° 0' 3" 3"
一区	(四・二km) 作野祥夫	12分33秒
(一之瀬ソフト連盟)	14分24秒	12分33秒
二区	(三・七km) 喜多寿一	13分56秒
(大野木)	(敢闘賞)	13分56秒

ガンバレ！



ゴール——ちょっと照れくさそう！

優勝した注連指チーム



茶屋広（島出橋）附近

警察官の異動

◇ 棚橋警察官駐在所



◇ 麻加江警察官駐在所



- 着任 中島英夫巡査部長
(49歳、四日市南警察署神前駐在所から)
- 退職 山岡 廣巡査部長

- 着任 上田英利巡査
(32歳、伊勢警察署警務課から)
- 転任 河邑博幸巡査

(南勢町穂原警察官駐在所へ)

一之瀬駐在所の竹内さんは、子供達にも親しまれ、この程着任以来子供達の通学時の交通安全に心をくばり、その指導を行つてくれました。特に一之瀬小学校前の県道は、車の通行が激しく子供達の交通安全が望まれています。

竹内さんはその人柄により善意に感謝する子供達……

この子供達の心に、交通安全の精神が健全に育つていくことを祈ります。

一之瀬小学校の卒業生 竹内巡査に感謝の花束



広報 2~3月号(No.218号)

(7)

寄稿

河合かわい

牧戸にゆかり深い
女流教育者

西田善男(牧戸)

わたりいわたらいい

昭和二十一年三月、占領軍總司令官マッカーサーは日本の教育を根本的に改革するため、ストーナード博士を中心とする米国の著名な教育家二十七人からなる米国教育使節団を招いた。この中にはウエスレー大学長、バーナード女子大学長など三人の女性が含まれる。マッカーサーは、この使節団の相談相手となるべき日本側の委員会を要請したので、日本政府は東大総長・南原繁・京大総長・鳥養利三郎など日本を代表する教育関係者二十九人からなる委員会を組織したが、その中に津田塾専門学校長・星野あい・恵泉女子農芸専門学校長・河合道の二人の女子教育家が含まれている。

米国教育使節団は日本側委員会の協力を得、約一ヶ月にわたって日本の教育を視察調査したが、米国教育をよく知り、米国に友人知人が多く、英語を日本語と同じように使い、或はそれらの人の宿泊を司り、或は神宮の大麻を作製して配布するなどの事をした家で、幕末最盛期には山田に五百軒、宇

太郎の妹であり、山田外宮近くの御師河合大夫の範康に嫁ついた。御師(おし)というのは、伊勢神宮の神官が諸國(諸府県)各地の神宮参詣者のために代理に祈りを行い、或はそれらの人の宿泊を司り、或は神宮の大麻を作製して配布するなどの事をした家で、幕末最盛期には山田に五百軒、宇

治に三百軒もあつたという。河合に帰米した。総司令部は同日この報告書を公表したが、戦後日本の教育改革はすべてこの報告書に基づくものであった。

さて、日本側委員となつて活躍した河合道は牧戸出身である。彼女の母菊枝は下里正直の祖父由

布告により、御師への宿泊や大麻

研究のため数回にわたつてアメ

リカ、イギリス、ドイツ、フランス、

スイス、オランダ等に出かけてい

る。彼女がアメリカ各地を行脚し

て講演した親善の主旨は、キリスト教の仕事のため、或は自らの勉学

研究のため数回にわたつてアメ

リカ、イギリス、ドイツ、フランス、

スイス、オランダ等に出かけてい

る。彼女がアメリカ各地を行脚し

て講演した親善の主旨は、キリスト教主義に則り、アメリカ人も日本人も共に神の子として兄弟であるから、お互に仲よくしていこう

といふものであり、これが非常な

共感を呼んで多い時は三千人もの聴衆が集まり、排日気分の旺盛であつた。

これより先、彼女が女学校で勉強中の十三歳の頃(明治二十三年)、父の範康が病氣で亡くなつたので母菊枝は弟信三を連れて牧戸に帰つた。河合道もその例に洩れず、明治十代後半には広大な家屋敷も

日本に帰つて先づ牧戸に母を訪ね、

九月から英学塾の教壇に立ち、翌

年には東京女子高専師範学校の講

師を兼任した。

(つづく)

ある日、その人に会うと、その人は何の罪とがない子供いじめをして、今になつてはつかしい思いで居りますと話してくれました。

私は今でもおそくはない、人間はいつかは善心にもどる

者と聞いて居る。あなたはこ

れからが人生の大切な時と思

います。進み行く現代の社会

によく構えを新たにして進

んで下さいと、励ました、少しだけ社会のために奉仕し

て下さいと諭し手を握り合つて別れました。

家庭では、笑い声を出して皆で何ごとも話し合つて楽し

く進んで行きたいと念願して居ります。

今から四十八年前、私供の

お寺に弘法大師のお堂が新築

せられ、その年の秋、入佛法

事が盛大に行われました。そ

の時、当座の住職山中實應和尚の兄弟子にあたられる武藏

国平林寺大和尚が、

家内中調子揃えて大笑い

これ天然の音楽の声

と諭していかれました。

家庭では、子供さんは朝起

きたら、おかあさん、おはよ

う」と言って戴きたい。この

ような母と子のふれあいが、

貴いと思います。

家族揃つて話し合い、児童

生徒さんも体を大切に鍛え、

よく学び、親と子が充分に話

し合つて進んでいきたいと念

願して居ります。

合掌

